

兵庫大学附属須磨幼稚園

創立90周年記念式典 挙行

本園は大正15年4月、校主河野巖想先生がいち早く幼児教育の大切さを感じ、幼稚園を始められて今年度が創立90周年となります。第2次世界大戦と22年前の震災と二度にわたる不幸な出来事を乗り越え、歴代の先生方のご努力と熱意により現在の兵庫大学附属須磨幼稚園があります。

平成28年12月11日(日)、兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校アリーナにおいて、創立90周年記念式典・音楽会を盛大に行うことができました。記念式典は、園児代表による献灯・献花、渡邊理事長の献香で始まり、厳粛な雰囲気の中で行われました。また記念式典では須磨幼稚園へのエールとして、神戸国際中学校・高等学校、兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校の生徒のみなさんにコーラスやカラーガードの演技で華を添えていただきました。音楽会の準備の間、子どもたちや会場の皆様に須磨幼稚園の90年の歩みをパワーポイントでご覧いただきました。

音楽会ではどの学年も頑張り、会場の皆様に大きな拍手をいただき励みとなりました。5歳児は「震災を超え 未来へ」と題し、須磨幼稚園の90周年を語る上で外すことのできない阪神・淡路大震災に触れ、震災当時から現在、そして未来へとつながっていく想いや亡くなった方々への追悼の気持ちを込めて「しあわせ運べるように」「おそすぎないうちに」「見上げてごらん夜の星を」を歌ったりベル演奏をしました。



園児による献灯・献花



渡邊東理事長挨拶



大村桂治郎園長挨拶



神戸国際中学校・高等学校のコーラス



附属須磨ノ浦高校カラーガード部



園児による合唱



園児によるハンドベル演奏

兵庫大学附属加古川幼稚園



平成28年10月4日
サツマイモ掘りに出かけました



平成28年10月13日
自分たちで植えた稲の稲刈り



平成28年12月1日
陶芸教室で茶道のお茶碗を作りました



平成28年12月3日
年長さんの収穫したお米でお餅つき



平成28年12月14日
「おはしも」の約束を守って避難訓練



平成28年12月15日
なかよし会にサンタさんがやってきました

あおぞら AOZORA 睦学園ニュース 第58号 平成29年1月30日発行

編集・発行：学校法人 睦学園 MUTSUMI GAKUEN

〒654-0081 神戸市須磨区高倉台7丁目21番1号
TEL 078-731-7100
URL <http://www.mutsumi-gakuen.ac.jp>



あおぞら 第58号

感謝 生かされる心 寛容 信じあう心 互譲 たすけあう心

兵庫大学・短期大学部

「熟議2016 in兵庫大学」を開催

平成28年11月20日

11月20日(日)兵庫大学図書館ラーニング commons で「熟議2016in兵庫大学」を開催しました。

兵庫大学における「熟議」は市民自らが地域の課題解決について多世代で熟慮し、議論をする機会として、今年度で5回目の実施となります。これまでと違い、高校生、大学生が参加の中心であり、議論を重ねて得た結論を実現するという、民主主義の基本を、熟議を通して学ぶ、いわゆる主権者教育の側面を持っています。

当日は、テーマ「今、大地震が加古川地域を襲ったら？」のもと、兵庫大学生17名(内学生10名はファシリテーター)、県下11校の高校生43名を含む73名が議論に参加しました。議論は7~8名が1つのテーブルを囲むグループワークの形式で行われ、進行役であるファシリテーターを本学の学生が務めました。河野真学長は挨拶の中で、これまでの熟議の経緯と果たしてきた



河野真学長



岡田康裕加古川市長

意義を紹介しました。引き続き、午前中に行われた第一段階の議論では「防災」「復旧」「復興」の4つの異なる時間軸において、各自が考える減災のアイデアについて意見を出し合い、中間でその結果を発表しました。こうしたアイデアに対し、岡田康裕加古川市長からコメントとして、加古川市の防災システムの現状を踏まえ、特別なケアを必要とする方への災害時における対策の必要性、また行政が復興にどこまで関与できるのかについてお話をいただきました。昼食時には、加古川にゆかりのある3つの企業のご厚意により、地域の名菓が振る舞われ、参加者同士の交流に華を添えました。また午後の第二段階の議論では、メインファシリテーターである柏木登起さんの指導のもと、午前中に出たアイデアのうちの1つをさらに掘り下げて、グループごとに企画書を作成しました。「加古川市内で毎月1日を防災、減災デーにする」



「命を救う笛を製造する」などの企画案が発表されました。いずれも参加した自分たちが実行できるような企画案であり、熟議の政策提案としての役割も果たしました。

最後に、熟議プロジェクトチームリーダーの田端和彦副学長(研究・社会連携担当)が「若者が考え、討議することの重要性」を話し、成功裏に幕を閉じました。参加者からは、世代を超えて議論できたことへの充実感が多く聞かれました。本熟議の取組み、成果につきましては「熟議2016in兵庫大学 報告書」として2017年2月下旬発行予定です。

成道会フォーラム開催

平成28年12月14日

平成28年12月14日(水)に兵庫大学で開かれました平成28年度「成道会フォーラム」では、宗教教育の平成29年度年間テーマを協議しました。成道会とは、お釈迦さまがさとりをひらかれた12月8日に行われる仏教行事です。本学園では毎年12月第2水曜日に各部門の宗教教育担当者が集まり、現状の課題や問題点を明らかにし、建学の精神の徹底とより充実した教育に向けた話し合いを行う「成道会フォーラム」を開いています。



今年度の「成道会フォーラム」では、学園全体の建学の精神の充実および各部門の宗教教育に通底する次年度の年間テーマを協議することになりました。協議の結果「感謝」に決定しました。学園訓にもある「感謝」は、わたしたちは多くの存在によって生かされていること、そして仏さまの教えをいただいていることへの「有難うございます」ということです。本学園教職員のみならず、さまざまな機会



で建学の精神への理解をさらに深めていただきたいと思います。来年度は各部門で「感謝」をテーマとして宗教教育を進めていきます。実際の取組みについては、来年度の成道会フォーラムでみなさまと共有していきます。